2023

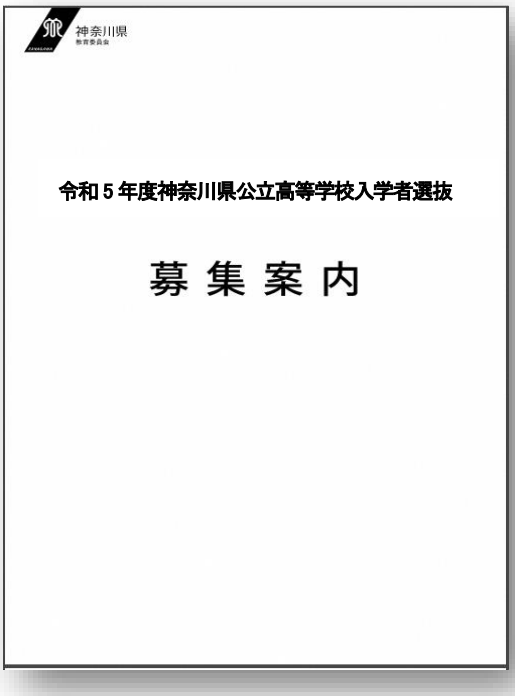
学校	
名前	

神奈川県
教育委員会
KANAGAWA

２０２３年度入学希望者用

神奈川県に住む日本語を母語としない方へのご案内

神奈川県の「公立高校入学のためのガイドブック」



このガイドブックは、神奈川県教育委員会が発行する「令和５年度神奈川県公立高等学校入学者選抜　募集案内」の内容をもとに作成されています。

神奈川県の公立高校入学者選抜の多言語情報　https://hsguide.me-net.or.jp ☞

高校進学ガイダンスの申し込み　https://hsguide.me-net.or.jp/reservations ☞

作成：神奈川県教育委員会＋認定ＮＰＯ法人多文化共生教育ネットワークかながわ（ME-net）

目　次

受検するまでに・・・・・知っておいてほしいこと　　ページ

1　高校の種類 …… 1

（1）公立高校と私立高校の違い

（2）全日制、定時制、通信制の違い

（3）学年制と単位制の違い

（4）普通科と専門学科、総合学科について

受検の時・・・確認してほしいこと

2　受検までの日程 …… 3

3　公立高校の入学者選抜の概要と日程 …… 4

4　志願資格と出願に必要な書類等 …… 5

（1）志願資格

（2）出願に必要な書類等

5　公立高校の受検料・入学料の減免制度について …… 6

6　調査書について …… 7

7　面接シートについて …… 8

8　海外で学校教育における９年の課程を修了した人の手続 …… 9

9　公立高校の入学者選抜について …… 10

（1）共通選抜および特別募集

（2）在県外国人等特別募集と海外帰国生徒特別募集の実施校

（3）定通分割選抜　【夜間の定時制と通信制で実施】

（4）一般募集での特別な受検方法について

入学したら・・・必要なこと

10　学費について …… 17

11　高等学校等就学支援金について …… 18

12　私立高等学校等の学費支援制度等について …… 18

13　高校の再入学について …… 19

このガイドブックについての問合せ先

神奈川県教育委員会　高校教育課入学者選抜・定員グループ

TEL (045)210-8084

HP:https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/kanagawa.html

NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ（ME-net）事務局

TEL (045)896-0015（月・水・金　10:00～17:00）　E-mail: info@me-net.or.jp

HP: https://me-net.or.jp/

ガイドブックの翻訳版は上の２つのホームページからダウンロードできます。

受検するまでに・・・・・知っておいてほしいこと

1　高校の種類

神奈川県内の高校は、公立高校と私立高校に分けられます。
また、授業の時間帯などにより、３つのタイプに分けられます。

（1）公立高校と私立高校の違い

公立高校	・県や市が設立 ・神奈川県に住んでいる人が志願できます。 （定時制・通信制は、職場が神奈川県内にあれば志願できます。） 【受検の方法】全ての公立高校が行う「共通選抜」と、定時制（夜間）と通信制だけが行う「定通分割選抜」の２つがあります。 ☞ P.4
私立高校	・民間が設立 ・高校によって教育の方針が違います。 【受検の方法】高校ごとに受検日、検査内容が違います。私立高校１校だけ受検する「専願（単願）」と、公立高校と私立高校１校ずつ受検する「併願」と複数の私立高校を同時に受けられる「オープン」の３つの受検方法があります。「専願（単願）」や「併願」で合格した場合は、合格した高校に進学しなければいけません。辞退すると他の高校を受検することができなくなります。

（2）全日制、定時制、通信制の違い

学習のスタイルによって３種類の課程があります。

全日制の課程	午前８時40分頃から午後３時30分頃まで毎日授業を受ける課程です。 卒業まで３年間です。
定時制の課程	特定の区切られた時間帯（午前、午後、夜間）で授業を受ける課程で、多くの学校は夜間の時間帯です。 自分の課程以外の時間帯にも授業を受けられる、フレキシブルスクールという高校もあります。 卒業まで４年かかりますが、学校によって３年で卒業できる制度もあります。

通信制の課程	教科書・学習書をもとに、主に自宅で作成したレポートを提出し、試験に合格することで、単位を修得する課程です。 毎日学校に行く必要はありません。月に２～３回程度は、登校して面接指導（スクーリング）を受ける必要があります。 レポート作成のためのスクーリングを平日に行ったり、インターネットを活用して学ぶことができる高校もあります。

（３）学年制と単位制の違い

クラスや学年の分け方によって２種類あります。

学年制	学年によって勉強する内容（カリキュラム）の多くが決まっているシステムです。
単位制	学年の区分がなく、必要な単位を修得することで卒業できるシステムです。

（４）普通科と専門学科、総合学科について

高校は勉強の種類によって、学科が分かれています。

神奈川県の公立高校には次の学科があります。

普通科	国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語などの共通教科を中心に勉強する、もっとも一般的な学科です。 学年制と単位制があります。
普通科 専門コース	普通科ですが、特定の分野を加えて勉強する学科です。 横浜市立戸塚高校普通科音楽コースがあります。 単位制です。
専門学科	農業、工業、商業、水産、家庭、看護、福祉、理数、体育、音楽、美術、国際、国際関係、総合産業、舞台芸術に関する学科があり、専門的知識・技術の基本を勉強します。 学年制と単位制があります。
総合学科	普通科の科目と専門学科の科目から特色ある科目を選択して学ぶ学科です。 単位制です。

受検の時・・・確認してほしいこと

2　受検までの日程（新型コロナウイルス感染症の状況によっては、変更となる場合があります。）

日本の中学校を卒業
または卒業予定の人

海外で学校教育における９年の課程を
修了した人

2022年
９月～11月

「日本語を母語としない人たちのための高校進学ガイダンス」
※　神奈川県の公立高校入学者選抜の多言語情報を
ME-net（ミーネット）のホームページで提供します。
https://hsguide.me-net.or.jp

2022年10月下旬

公立高校の募集定員が神奈川県教育委員会のホームページや新聞で発表されます。

2022年
12月～

中学校で面談等が行われ、
高校受検の確認をします。
「一般募集での特別な受検方法」
は中学校を通して申請します。
（☞ P.16）

12月３日（土）の「県教育委員会の説明会」
に出席してください。（☞ P.9）
「一般募集での特別な受検方法」の説明も
行います。（☞ P.16）

2023年１月～
共通選抜・
特別募集(※1)
日程等☞ P.4

①：受検する高校（１校）へ入学願書を提出します。
②：志願変更を１回だけすることができます。
③：学力検査や面接等の検査を受けます。
④：合格者の発表があります。

共通選抜・特別募集及び私立高校等に合格した人は、
定通分割選抜と二次募集（※２）には志願できません。

2023年３月～
定通分割選抜
日程等☞ P.4

①：受検する高校（１校）へ入学願書を提出します。
②：志願変更を１回だけすることができます。
③：学力検査や面接等の検査を受けます。
④：合格者の発表があります。

※１　特別募集：「在県外国人等特別募集」（20校で募集）、「海外帰国生徒特別募集」（８校で募集）志願資格 ☞ P.5

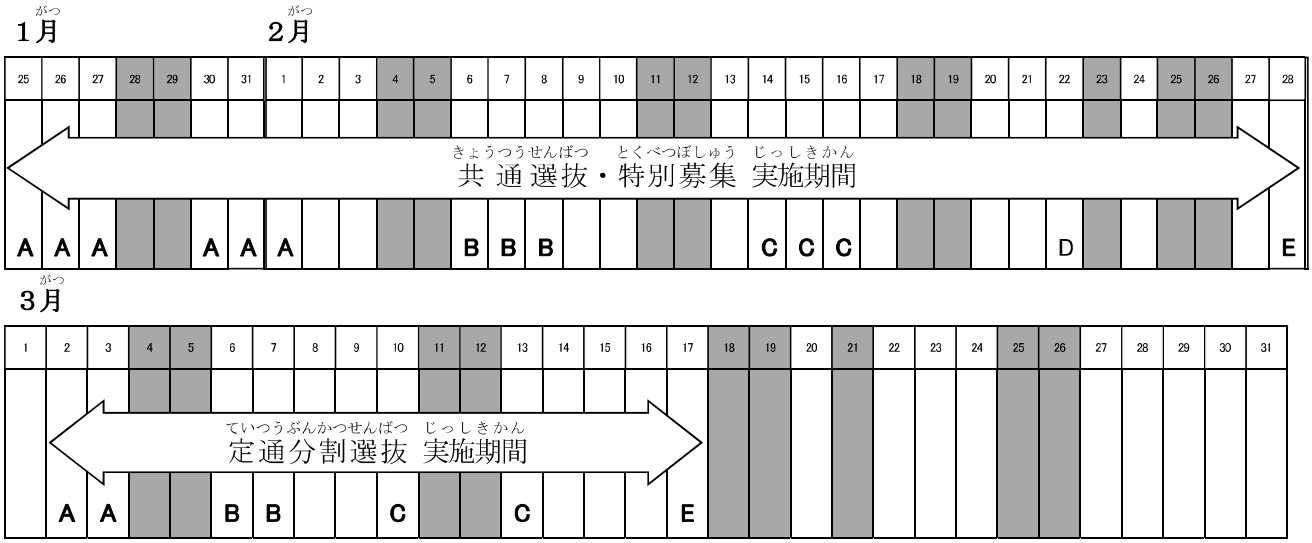
※２　二次募集は、全日制、定時制（夜間以外）の高校では、共通選抜で定員に満たなかった高校で必要に応じて３月上旬に実施します。定通分割選抜とは別の日程で行い、両方志願できます。また、定時制（夜間）と通信制の高校では、定通分割選抜で定員に満たなかった高校で必要に応じて３月下旬に実施します。

＊　新型コロナウイルス感染症に係る対応として実施する追加の検査について　☞　P.10

３　公立高校の入学者選抜の概要と日程

（新型コロナウイルス感染症の状況によっては、変更となる場合があります。）

2023年度　神奈川県公立高校入学者選抜日程



A：出願書類提出　**B**：志願変更期間　**C**：検査日（学力検査や面接等）　**D**：追検査　**E**：合格発表

選抜の機会	課程	全日制、定時制Ⅰ（＊）	定時制Ⅱ（＊）	通信制
共通選抜・特別募集	募集	募集人員は募集定員の100%とします。	募集人員は募集定員の80%とします。	
	志願	ひとつの課程・学科・コース等に志願します。 志願には願書と面接シート等を提出します。☞ **P.6** 志願変更が１回だけできます。☞ **P.10**	※１月25日～27日は郵送受付期間 ☞ **P.10**	
	検査	学力検査と面接 ☞ **P.11** 特色検査を行う高校もあります。		面接または作文 ☞ **P.11**
	選考	一般募集 ☞ **P.12** の選考方法を見てください。 特別募集 ☞ 調査書を用いない選考をします。（＊＊）		調査書と実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。
定通分割選抜	募集	実施しません。	募集人員は募集定員の20%です。 ただし、共通選抜で募集人員に満たなかった高校では、満たなかった人数を募集人員に加えます。	
	志願		ひとつの課程・学科に志願します。 志願には願書と面接シート等を提出します。☞ **P.6** 志願変更が１回だけできます。☞ **P.15**	
	検査		学力検査と面接☞ **P.15** 特色検査を行う高校もあります。	面接または作文 ☞ **P.15**
	選考		☞ **P.12** の選考方法を見てください。	調査書と実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。

＊ 定時制Ⅰ・・・ 夜間以外の定時制高校（県立横浜明朋高校、県立川崎高校、県立厚木清南高校、県立相模向陽館高校、横浜市立横浜総合高校、川崎市立川崎高校）

定時制Ⅱ・・・ 定時制Ⅰを除く夜間の定時制高校

＊＊ 県立相模原弥栄高校の海外帰国生徒特別募集、県立横浜旭陵高校の在県外国人等特別募集では調査書を用います。

４　志願資格と出願に必要な書類等

（１）志願資格

一般募集での志願資格

志願する高校	志願資格
全日制の一般募集	次のＡＢＣすべてにあてはまる人 Ａ　2008年４月１日以前に生まれた人 Ｂ　中学校または海外で学校教育における９年の課程を卒業（修了）した人、または、2023年３月31日までに卒業（修了）する予定の人 Ｃ　本人と保護者が神奈川県に住んでいる人、または、2023年４月１日までに神奈川県に転居する予定の人
定時制・通信制の一般募集	ＡＢに加えて、Ｄにあてはまる人 Ｄ　神奈川県に住んでいる人、または、2023年４月１日までに神奈川県に転居する予定の人（職場が神奈川県でもよい。）

特別募集での志願資格

在県外国人等特別募集 （募集する高校は全日制16校 定時制４校　☞ **P.13**）	ＡＢＣ（**定時制はＡＢＤ**）に加えて、ＥとＦにあてはまる人 Ｅ　入国後の在留期間が2023年２月１日現在で通算６年以内の人（小学校入学前の在留期間を除く。） Ｆ　外国籍を持っている人、または、日本国籍を取得して６年以内の人（2023年２月１日現在）
海外帰国生徒特別募集 （募集する高校は全日制８校 ☞ **P.14**）	ＡＢＣに加えて、Ｇにあてはまる人 Ｇ　保護者の勤務等の関係で、継続して２年以上外国に在住して、帰国した日が2020年４月１日以降の人

（２）出願に必要な書類等

一般募集

一般募集	①　入学願書 ②　受検料（※1） ※1　昨年度は全日制 2,200円 定時制　950円（ただし、横浜市立の定時制は650円） 通信制　０円 ③　調査書等（中学校から提出）（※2） ※2　海外で学校教育における９年の課程を修了した人や、 18歳以上（2023年４月１日現在）　の人は提出不要です。 ④　その他（面接シートなど志願先の高校が指定する提出物）

特別募集

在県外国人等特別募集	①②③④に加えて ⑤　外国籍を持っている、または、日本国籍を取得して６年以内であることを証明する書類 ⑥　入国後通算６年以内であることを証明する書類（パスポート等）
海外帰国生徒特別募集	①②③④に加えて ⑦　保護者の勤務等の関係で、継続して２年以上外国に在住したことを証明する書類（※3） ⑧　帰国が2020年４月１日以降であることを証明する書類（※3） ※3　会社の証明書または保護者と本人のパスポート等

○　同じ高校に２つ以上の部（午前部、午後部等）がある定時制高校では、入学願書に第２希望まで書くことができます。また、農業、工業、商業および水産に関する学科の中で、２つ以上の科がある専門学科高校でも、入学願書に第２希望まで書くことができます。（ただし、第２希望は第１希望で定員が埋まらなかったときのみ、選考対象となります。）

また、県立横浜国際高校では、国際科（国際バカロレアコースを除く。）および国際科国際バカロレアコースについて、入学願書に第２希望まで書くことができます。

５　公立高校の受検料・入学料の減免制度について

○　受検料・入学料の減免制度とは

経済的な理由で受検料・入学料（入学金）の支払が困難な人に対して、受検料・入学料の全部または一部を免除する制度です。（入学料☞ P.17）

○　申込み方法・・・志願先の高校の事務室にご相談ください。免除申請手続の期限は、

受検料　…　入学願書の提出日の前日まで

入学料　…　入学手続日の前日まで（合格発表後、数日以内）

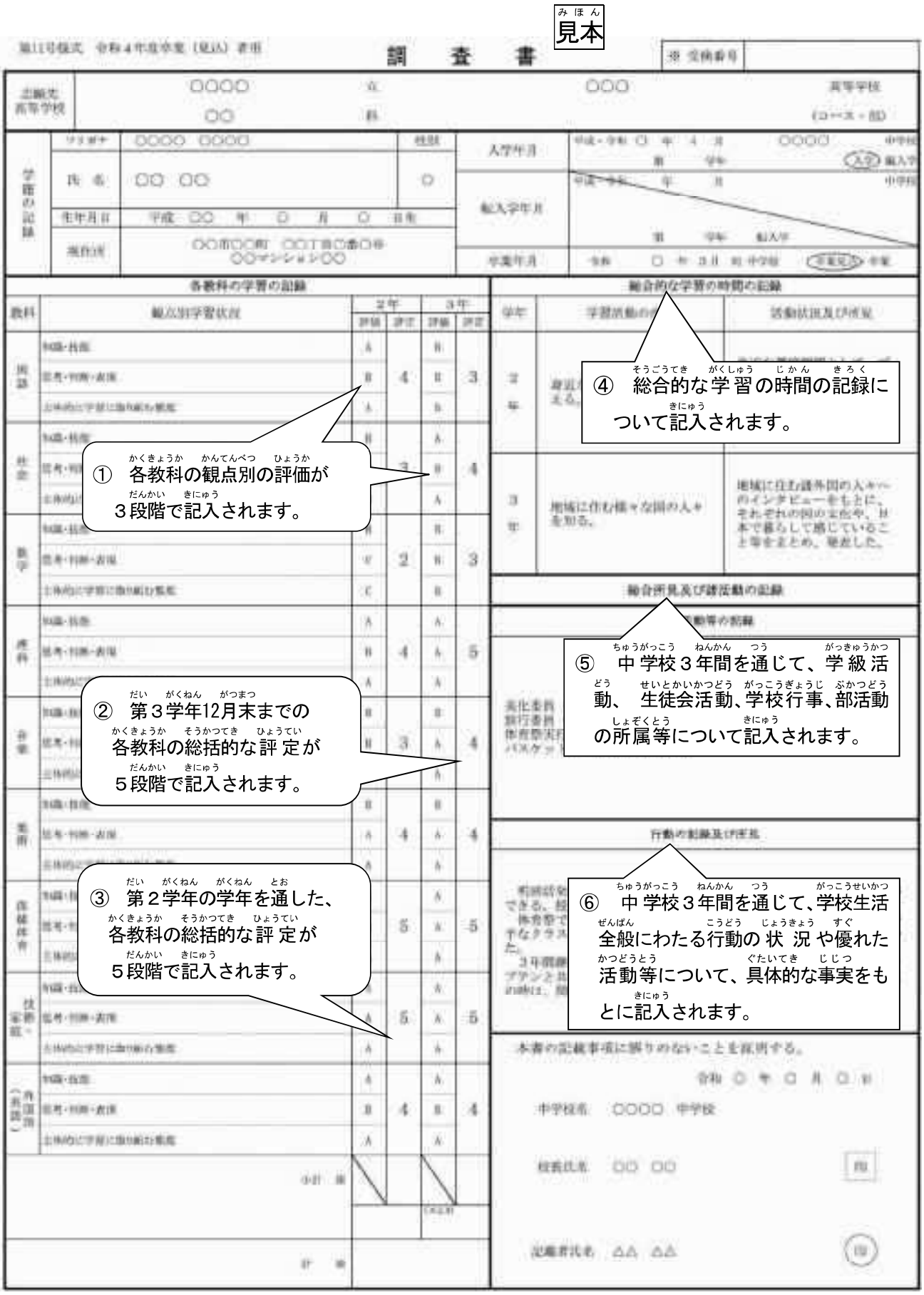
（★　期限を過ぎた場合、免除はできません。）

【問合せ先】

・志願先の高校の事務室・県教育委員会財務課財務指導グループ　TEL (045)210-8113［直通・日本語対応］

６　調査書について　※※※2023年度から新しい様式になります※※※

調査書は中学校で作成され、入学者選抜で選考の資料となる大切なものです。



7　面接シートについて

面接シートは、受検生自身の考えを自分で書いて、出願時に入学願書と一緒に提出します。
面接の時の参考資料で、書いてある内容について評価は行いません。

第14号様式

面　接　シ　ー　ト

※受検番号	

志願者氏名	フリガナ	中学校名	立　　中学校
志願先	（県・市）立　　高等学校　　科		コース　部

◎ 面接の質問内容の参考とするため、次のことについて記入してください。2、3については、取組み内容も含めて記入してください。
◎ このシートは面接の際の参考資料で、直接に選考資料にはしません。

1　なぜこの学校に入学したいのですか。

「1　なぜこの学校に入学したいのですか。」には、あなたが志願する高校に入学したいと思っている理由や、入学後の高校生活の中で自分の興味・関心や意欲を生かしてどのようなことに取り組んでいきたいか等について記入してください。

2　中学校での教科等の学習活動に対して、どのような意欲をもって取り組みましたか。

「2　中学校での教科等の学習活動に対して、どのような意欲をもって取り組みましたか。」には、あなたが中学校の勉強でがんばったことや興味・関心をもって意欲的に取り組んできたこと等について記入してください。

3　中学生のときに教科等以外の活動に対して、どのような意欲をもって取り組みましたか。
（学校外の取組みでも構いません。）

「3　中学生のときに教科等以外の活動に対して、どのような意欲をもって取り組みましたか。」には、あなたが中学生の時に入っていた部活動や委員会等の活動でがんばったことや、ボランティア活動等学校外の取組でがんばったことについて記入してください。

4　自分自身のよいところはどのようなところだと考えていますか。

「4　自分自身のよいところはどのようなところだと考えていますか。」には、面接の時に参考となるよう、「自分にはこのようなよい面がある」というあなた自身の特徴や長所について記入してください。

【記入上の注意】1　※の欄は記入しないこと。
2　枠内に自筆で記入すること。

記入上の注意
1 ※の欄は記入しないこと。
2 枠内に自筆で記入すること。鉛筆書きも可。写真等は貼り付けない。

８　海外で学校教育における９年の課程を修了した人の手続

（新型コロナウイルス感染症の状況によっては、変更となる場合があります。）

志願資格の承認を受ける手続が必要です。次の説明会に参加してください。

県教育委員会主催の説明会（県外・海外出身者対象通訳あり）

12月３日（土）14：00 ～　戸塚公会堂　地図☞ P.14

横浜市戸塚区戸塚町127　「戸塚駅」西口から徒歩８分

※この説明会で、志願資格承認申請の受付を行います。

申請する方は、下の〈必要な書類〉①～③を持ってきてください。

入学願書等の書類は説明会の時にお渡しします。

↑地図が表示されます

★　現在、神奈川県の公立中学校に在籍している人は、参加できません。

※最新の情報はME-netのホームページを参考にしてください。(https://hsguide.me-net.or.jp)

○　手続の方法

【保護者とともに県内に住んでいる人（全日制の志願資格がある人）】

12月３日の説明会または12月５日（月）～１月16日（月）に県教育委員会（高校教育課）で、「志願資格承認申請」をしてください。（地図☞ **P.19**）

〈必要な書類〉

① 県内に本人と保護者が住んでいること、または住む予定を示す書類
（本人と保護者の住所および続柄がわかる、**住民票等**）

② 海外で学校教育における９年の課程を修了したことを示す書類
（外国の中学校の卒業証明書等）

③ 志願資格承認申請書（第15号様式）
※③は県教育委員会のホームページからダウンロードできます。

神奈川県公立高校の志願資格が認められれば「**志願資格承認書**」が渡されます。

志願先の高校に、入学願書と一緒にこの承認書を提出します。

【保護者が県内に住んでいない人（定時制・通信制の志願資格のみの人）】

志願先の高校の窓口で、定時制・通信制への志願資格承認申請（第18号様式）をしてください。上記にある〈必要な書類〉を、入学願書と一緒に高校に提出します。

（住所を証明する書類は本人のものだけでよい。）

★　定時制・通信制は、**本人が**県内に住んでいる、または、県外に住んでいても県内に勤めていれば、保護者が県内に住んでいなくても志願資格が得られます。

【問合せ先】

・県教育委員会高校教育課入学者選抜・定員グループ　TEL (045)210-8084［直通・日本語対応］

９　公立高校の入学者選抜について

（１）共通選抜および特別募集

手続および検査日程（新型コロナウイルス感染症の状況によっては、変更となる場合があります。）

検査や手続	日時	場所
出願書類提出	〈全・定・通〉　１月25日（水）～27日（金）　郵送受付期間（必着） ※　ただし、在県外国人等特別募集及び海外帰国生特別募集は除く。	
	〈全日制〉　１月30日(月)・31日(火)　９:00～12:00、13:00～16:00 ２月１日(水)　９:00～12:00 〈定時制＊〉　１月30日(月)・31日(火)14:00～19:00 ２月１日(水)　14:00～16:00 〈通信制〉　全日制と同じ	志願先の高校
志願変更期間	〈全日制〉　２月６日(月)・７日(火)　９:00～12:00、13:00～16:00 ２月８日(水)　９:00～12:00 〈定時制＊〉　２月６日(月)・７日(火)14:00～19:00 ２月８日(水)　９:00～12:00 〈通信制〉　全日制と同じ	下記★参照
検査日	**学力検査：２月14日(火)** **面接・特色検査等：２月14日(火)・15日(水)・16日(木)** ※　上記の期間のうち、受検票に書いてある日 追検査＊＊：２月22日(水)　追加の検査＊＊＊：３月９日（木）	志願先の高校等
合格発表 合格書類の受取	〈全・定・通〉　２月28日（火）　(※発表はWebで行います。) 合格書類の受取は、志願先の高校が指定した時間になります。	志願先の高校

＊定時制の、県立横浜明朋高校、県立相模向陽館高校、横浜市立横浜総合高校の３校は全日制と同じ時間で行います。

＊＊インフルエンザの罹患等、やむを得ない事情により検査を受検できなかった人を対象に、追検査を実施します。

＊＊＊新型コロナウイルス感染者又は濃厚接触者と認定されたことにより、共通選抜における学力検査等および追検査を受検できなかった受検者を対象として追加の検査を行います。　→　合格発表：３月15日（水）

★　志願変更について

・　１回だけ、志願する高校を変更できます。

・　志願変更は、次の２つの手続が必要です。

①　最初に、初めの志願先の高校へ行って手続をし、書類をもらいます。（注意：新しく願書をつくる場合があります。窓口で確認してください。）

②　①でもらった書類を、新しい志願先の高校へ行って提出します。（注意：多くの場合、改めて面接シートも提出します。）

一般募集での検査内容

全日制	①　「学力検査」があります。（英語、国語、数学、理科、社会の５教科） ただし、「クリエイティブスクール※」では、学力検査を行いません。 ②　「面接」があります。 ③　「特色検査」として、実技検査、自己表現検査を行う学校もあります。 （「特色検査」を行う場合は、学力検査を３教科にまで減らすことがあります。）
定時制	①　「学力検査」があります。（英語、国語、数学の３教科） ②　「面接」があります。 ③　「特色検査」として、実技検査、自己表現検査を行う学校もあります。
通信制	①　「面接」または「作文」があります。

※「クリエイティブスクール」は県立田奈高校、県立釜利谷高校、県立横須賀南高校の普通科、県立大井高校、県立大和東高校の５校

特別募集での検査内容

在県外国人等特別募集	全日制16校と定時制４校（☞ **P.13**） ①　「学力検査」があります。（英語、国語、数学の３教科） ※　学力検査は、ルビ（漢字のふりがな）付きの日本語で出題されます。 ②　「面接」があります。
海外帰国生徒特別募集	全日制８校（☞ **P.14**） ①　「学力検査」があります。（英語、国語、数学の３教科） ②　「作文」と「面接」があります。 ※　県立横浜国際高校国際科国際バカロレアコースでは、「特色検査」があります。

注意１）　「募集案内」（日本語の冊子　県教育委員会発行　県内の公立中学校３年生には７月に配付）に各高校の「学力検査」の教科数や「特色検査」の内容が書いてあります。

注意２）　共通選抜や私立高校等に合格した人は、定通分割選抜（☞ P.15）への志願はできません。
※ 入学を辞退しても志願できません。

注意３）　学力検査は各教科50分です。一般募集で特別な受検方法を希望する場合は手続が必要です。（☞ P.16）全日制と定時制の学力検査の問題は異なります。

一般募集での選考方法（合格者の決め方）

①選考の資料

特色検査がある学校のみ

A　中学校の成績（調査書の評定）	B　学力検査の合計得点	C　面接の得点	D　特色検査の得点
中学校２年の５段階評定の合計（45点満点） ＋ 中学校３年の５段階評定の合計の２倍（90点満点）※	学力検査の合計得点（各教科100点満点）※	面接の得点	特色検査の得点

※　各学校の比率や、特定の教科を重点化をする学校名は、「募集案内」等で公表されます。

ＡＢＣ（特色検査がある学校はＤを含む。）の得点それぞれを**100点満点**に換算

A　中学校の成績	B　学力検査の合計得点	C　面接の得点	D　特色検査の得点
→**a**（100点満点）	→**b**（100点満点）	→**c**（100点満点）	→**d**（100点満点）

合計数値Ｓ＝ａ×ｆ＋ｂ×ｇ＋ｃ×ｈ＋ｄ×ｉ

（※　ｆ、ｇ、ｈ、ｉは比率を表します。）

比率（ｆ：ｇ：ｈ：ｉ）の例

Ａ高校では、中学校の成績を重視して（６：２：２）、特色検査はなし

Ｂ高校では、学力検査を重視して（３：５：２）、特色検査はなし

Ｃ高校では、面接と特色検査を重視して（３：３：４：４）

②合格者の決め方

検査終了後、各学校では合格者を決める会議を開いて、第１次選考、第２次選考の順で合格者を決めます。

第１次選考	合計数値Ｓの高い順に募集人員の90％まで選考します。
第２次選考	調査書の評定ａを使わないで、ｂとｃ（特色検査がある学校はｄを含む。）で、合計数値Ｓを改めて算出し、募集人員まで選考します。 ※ このときのｇとｈは改めて、それぞれ２以上の整数で合計が10になるように各学校が定めます。

※　「クリエイティブスクール」（☞ **P.11**）と県立横浜明朋高校、県立相模向陽館高校では、調査書の評定を使わないで、総合的に選考します。

※　通信制では、調査書と、実施した検査の結果で、総合的に選考します。

※　全日制、定時制、通信制の課程すべての選抜において、中学校の評定がないなど、資料の一部が整わない受検者にも配慮した選考を行います。

※　県立横浜国際高校については、①、②について方法が異なりますので、「募集案内」等で、必ず確認してください。

（２）在県外国人等特別募集と海外帰国生徒特別募集の実施校

【在県外国人等特別募集の実施校】　全日制16校、定時制４校

学校名	課程	学科	所在地	前年度募集定員
県立鶴見総合高校	全日制	単位制総合学科	横浜市鶴見区	２０
県立横浜清陵高校	全日制	単位制普通科	横浜市南区	１３
県立横浜旭陵高校	全日制	単位制普通科	横浜市旭区	7
県立新栄高校	全日制	普通科	横浜市都筑区	7
県立川崎高校	全日制	単位制普通科	川崎市川崎区	１２
県立大師高校	全日制	単位制普通科	川崎市川崎区	１０
県立橋本高校	全日制	普通科	相模原市緑区	１０
県立相模原弥栄高校	全日制	単位制普通科	相模原市中央区	１０
県立高浜高校	全日制	普通科	平塚市	7
県立藤沢総合高校	全日制	単位制総合学科	藤沢市	7
県立大和南高校	全日制	普通科	大和市	１０
県立伊勢原高校	全日制	普通科	伊勢原市	１０
県立座間総合高校	全日制	単位制総合学科	座間市	１０
県立愛川高校	全日制	普通科	愛甲郡愛川町	１０
県立横浜明朋高校	定時制	単位制普通科	横浜市港南区	午前部　7 午後部　7
県立相模向陽館高校	定時制	単位制普通科	座間市	午前部　１０ 午後部　１０
横浜市立みなと総合高校	全日制	単位制総合学科	横浜市中区	6
横浜市立横浜商業高校	全日制	国際学科	横浜市南区	4
横浜市立横浜総合高校	定時制	単位制総合学科	横浜市南区	（新規）
川崎市立川崎高校	定時制	普通科昼間部	川崎市川崎区	（新規）

※　2023年度の募集定員は、10月下旬に県教育委員会のホームページや新聞等で発表される予定です。

【海外帰国生徒特別募集の実施校】　全日制８校

学校名	課程	学科・コース	所在地	前年度募集定員
県立神奈川総合高校	全日制	単位制普通科国際文化コース	横浜市神奈川区	１０
県立横浜国際高校	全日制	単位制国際科	横浜市南区	２０
		単位制国際科国際バカロレアコース		５
県立新城高校	全日制	普通科	川崎市中原区	１０
県立西湘高校	全日制	普通科	小田原市	１０
県立鶴嶺高校	全日制	普通科	茅ヶ崎市	１５
県立相模原弥栄高校	全日制	単位制普通科	相模原市中央区	５
県立伊志田高校	全日制	普通科	伊勢原市	１０
横浜市立東高校	全日制	単位制普通科	横浜市鶴見区	１０

※　2023年度の募集定員は、10月下旬に県教育委員会のホームページや新聞等で発表される予定です。

県教育委員会主催の説明会（県外・海外出身者対象通訳あり） ☞ P.9

12月３日（土）14：00 ～　戸塚公会堂

横浜市戸塚区戸塚町127　「戸塚駅」西口から徒歩８分

↑地図が表示されます

（3）定通分割選抜　【夜間の定時制と通信制で実施】

※ 共通選抜や私立高校等に合格した人は、志願はできません。

手続および検査日程（新型コロナウイルス感染症の状況によっては、変更となる場合があります。）

検査や手続	日　時	場　所
出願書類提出	〈定時制〉 3月2日(木) 14:00～19:00 3月3日(金) 14:00～16:00 〈通信制〉 3月2日(木) 9:00～12:00、13:00～17:00 3月3日(金) 9:00～12:00、13:00～16:00	志願先の高校
志願変更期間	〈定時制〉 3月6日(月) 14:00～19:00 3月7日(火) 9:00～12:00、13:00～16:00 〈通信制〉 3月6日(月) 9:00～12:00、13:00～19:00 3月7日(火) 9:00～12:00、13:00～16:00	下記★参照
検査日	**学力検査：3月10日(金)** **面接・特色検査等：3月10日(金)・13日(月)** ※上記の期間のうち、受検票に書いてある日	志願先の高校
合格発表 合格書類の受取	〈定時制〉 3月17日(金) 15:00～18:00 〈通信制〉 3月17日(金) 10:00～12：00、13：00～15:00	志願先の高校

★　志願変更について

・　1回だけ、志願する高校を変更できます。

・　志願変更は、次の2つの手続が必要です。

①　最初に、初めの志願先の高校へ行って手続をし、書類をもらいます。（注意：異なる課程の高校に志願変更する場合は、新しく願書をつくる必要があります。窓口で確認してください。）

②　①でもらった書類を、新しい志願先の高校へ行って提出します。（注意：改めて面接シートも提出します。）

検査内容

定時制	①「学力検査」があります。（英語、国語、数学の各教科30分） ②「面接」があります。 ③「特色検査」として、実技検査、自己表現検査を行う学校もあります。
通信制	①「面接」または「作文」があります。

選考方法（合格者の決め方）

定時制では、共通選抜の第1次選考（☞ **P.12**）と同じ方法で選考します。

通信制では、調査書と実施した検査の結果で、総合的に選考します。

（4）一般募集での特別な受検方法について

特別な受検方法は、一般募集で受検する人が、申請できます。

また、申請は、一般募集を行うすべての公立高校でできます。

【申請できる人】

原則として、海外から移住してきて６年以内（2023年２月１日現在）の人

【申請方法】

「海外からの移住者等を保護者とする志願者の受検方法等申請書」（**第５号様式**）を志願する高校に出願の前に提出します。共通選抜も定通分割選抜もそれぞれ申請が必要です。

この書類は中学校の校長の名前で発行します。

早めに担任の先生に相談してください。

中学校に在籍していない人は、早めに希望する高校に問い合わせてください。

【申請できる特別な受検方法】

① 学力検査問題等の問題文にルビ（漢字にふりがな）をつけること

② 学力検査等の時間の延長（最長1.5倍）

③ 面接等の時、分かりやすい言葉でゆっくり話すこと

★ 通訳の同席や辞書の持込みはできません。

★ 「在県外国人等特別募集」では、上記受検方法の①と③で検査が行われますので、「特別な受検方法」の申請は必要ありません。

ただし、不合格になって定通分割選抜を受検する場合は、申請が必要になります。

定通分割選抜を受検する可能性のある場合は、早めに申請してください。

★ その他、受検で配慮が必要な人は県教育委員会に相談してください。

【問合せ先】

・県教育委員会高校教育課入学者選抜・定員グループ

℡ (045)210-8084［直通・日本語対応］

１０　学費について

高校で勉強するためには学費（教育費）が必要です。また、入学料も必要です。

全日制の課程

入学料	5,650円
年間授業料	118,800円
高等学校等就学支援金※の支給を受けた場合	0円

定時制の課程　（　）は横浜市立の場合

入学料	2,100円（1,200円）
年間授業料	32,400円
高等学校等就学支援金※の支給を受けた場合	0円

（ここに記載した学費は2022年５月１日現在のものです。金額は改定される場合がありますので、事前に確認してください。）

※　高等学校等就学支援金については　☞ P.18

１年間に必要なおおよその費用は、次のとおりです。

（ただし、高等学校等就学支援金の支給を受けた場合の金額）

（参考）	公立高校（全日制の課程）	約200,000円	（初年度）
	公立高校（定時制の課程）	約 40,000円	（初年度）
	私立高校（全日制の課程）	約900,000円～	（初年度）

上記のうち、合格した後の入学手続等の時（３月）に、まとまった費用がかかります。全日制普通科の場合、およそ10万円（教科書代、副教材代、制服・体操着・運動靴等の購入費等）です。専門学科はさらに実習費がかかる場合があります。また、通学費（交通費）、部活動費、文具費、体育授業での柔道着代や水着代、修学旅行積立金などの費用がかかる場合があります。

生活保護家庭や世帯収入が少ない（非課税）家庭向けに、「高校生等奨学給付金」という、返済の必要がない奨学金の制度もあります。募集は各高校で７月から行われます。

そのほか、「神奈川県高等学校奨学金」等、経済的に困難な生徒対象の奨学金制度もあります。奨学金は、学費援助を必要とする生徒に奨学金の貸付を行う制度で、無利息ですが、将来返還が必要になります。

１１　高等学校等就学支援金について

全ての意志ある高校生が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、授業料に充てる高等学校等就学支援金を生徒に支給し、家庭の教育費負担を国が支援する制度です。

社会全体の負担により、学びが支えられていることを自覚し、将来、社会の担い手として広く活躍されることが期待されています。**（※貸与型の奨学金ではありませんので、返済は不要です。）**

公立高校の場合、就学支援金を受け取る資格を得ると、授業料の支払は不要になります。

この制度を利用するには、手続が必要です。入学する高校から説明があり、必要な書類が渡されます。

◎翻訳された資料がありますので、必要な方は入学する高校に相談してください。

＜支給条件＞

○　保護者（親権者。父母がいる場合は双方）の収入について、以下の算定式により計算した額が、30万4,200円未満の世帯の方（およその年収が910万円以下）

【算定式】(市町村民税の)課税標準額×６％ －（市町村民税の）調整控除の額

○　生活保護を受けている世帯の方

＜申請書類＞

①　申請書　（**合格発表の時などに高校で配付されます。**）

②　**保護者（親権者）全員分のマイナンバーカード等の写し等**（マイナンバーカード・個人番号が記載された住民票の写し、個人番号が記載された住民票記載事項証明書等）

＜申請時期＞

原則として、入学時に１回（提出期限については、入学した高校からお知らせします。）

【高等学校等就学支援金についての問合せ先】

・入学した高校（担任の先生または事務室）

・県教育委員会財務課財務指導グループ　TEL (045)210-8113［直通・日本語対応］

１２　私立高等学校等の学費支援制度等について

神奈川県では、私立高等学校等に在学する生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、入学金・授業料の返還不要の補助を行っています。ただし、入学時には入学金や授業料は納入し、入学後に補助額を受け取ることになります。詳しくは各私立高等学校等に問い合わせてください。

（例）年収約700万円未満の世帯や生活保護世帯については、授業料の補助額４５６，０００円

年収約750万円未満の世帯については、授業料の補助額１９３，２００円

年収約800万円未満の多子世帯※１については、授業料の補助額４５６，０００円

年収約910万円未満の世帯については、授業料の補助額１１８，８００円

年収約910万円未満の多子世帯※１については、授業料の補助額１９３，２００円

上の例は、神奈川県内在住で県内の私立高等学校等に在学する方の授業料の補助額です。

補助額は、保護者（親権者。父母がいる場合は双方）の「所得に基づく基準額」で判定します。詳しくは、「募集案内」をご覧ください。

※１　多子世帯…15歳以上23歳未満の扶養している子ども（中学生を除く。）が３人以上いる世帯

※２　対象校はホームページをご覧下さい。

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3e/jyosei/gakuhisien/index.html

【私立高等学校等の学費支援制度等についての問合せ先】

・県福祉子どもみらい局私学振興課助成グループ　℡ (045)210-3793［直通・日本語対応］

１３　高校の再入学について

（１）　再入学について

高校に１年以上在学した後で中途退学した人が、高校に入り直すことを再入学といいます。

海外で高校（相当する学年）に在籍していた人が、日本の高校に入る場合も再入学です。

募集している高校で、再入学のための選抜（面接・学力検査等）を受けて合格すれば、再入学できます。

★　神奈川県の公立高校（全日制）に再入学するには、本人と保護者が県内に住んでいることが必要です。

（２）　海外から再入学するためには

海外で学校教育における10年の課程以上を修了していることが必要です。

再入学の時期は、原則４月１日付けで、３月に日本語による面接・学力検査等があります。

各校の在県外国人等特別募集枠に欠員があり、志願資格があれば、その枠への再入学も志願できます。（志願資格　☞ P.5）

受入れの学年（または学年相当）は、合格後、受入れ校の校長が判断します。

【問合せ先】

県教育委員会転編入学情報センター

横浜市中区日本大通１　神奈川県庁東庁舎　６階

℡ (045)210-8235［直通・日本語対応］　月～金　8:30～12:00・13:00～17:15

日本語を母語としない人たちのための高校進学ガイダンス　２０２２

主催　神奈川県教育委員会、認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ(ME-net)

【会場③のみ】　神奈川県教育委員会、多文化活動連絡協議会、(公財)川崎市国際交流協会、
認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ(ME-net)

ガイダンスに参加できるのは中学３年生または中学校を卒業した人とその保護者です。

① ９月３日（土曜）厚木市　アミューあつぎ　７Ｆ

参加予定高校：愛川、座間総合、橋本、相模向陽館　ほか

② ９月17日（土曜）横浜市西区　かながわ県民センター ２Ｆホール

参加予定高校：横浜清陵、鶴見総合、横浜明朋、新栄、横浜旭陵、横浜商業、横浜総合
みなと総合 ほか

③ ９月19日（月曜・休日）川崎市　川崎市国際交流センター

参加予定高校：県立川崎、市立川崎定時、大師、鶴見総合、新栄 ほか

④ 10月２日（日曜）平塚市　江陽中学校

参加予定高校：伊勢原、高浜 ほか

⑤ 10月16日（日曜）相模原市　さがみはら国際交流ラウンジ

参加予定高校：橋本、相模原弥栄、相模向陽館、愛川 ほか

⑥ 10月23日（日曜）大和市　渋谷中学校

参加予定高校：大和南、藤沢総合、座間総合、相模向陽館 ほか

※参加予定高校について：在県外国人等特別募集校のみ掲載しています。
その他の参加高校も含め、最終的な参加高校や会場案内など、詳しくは、
「ガイダンス特設ページ」をご覧ください　https://hsguide.me-net.or.jp ☞

予約が必要です。入場は無料です。

問合せ：ME-net事務局（045）896－0015（月・水・金 10:00～17:00）

高校進学ガイダンス申込み https://hsguide.me-net.or.jp/reservations ☞

予約が必要です！２週間前までに予約してください。定員になり次第、締め切ります。

通訳が必要な人は、予約する時に申し込んでください。

来場時間は予約を受け付けた後、ガイダンスの１週間前にメールでお知らせします。

ガイダンスは新型コロナウイルス対策をとって実施しますが、
中止する場合はガイダンス特設ページでお知らせします。